

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

ART for Human Possibilities～人はもっと幸せになれる～

ROIC
12.5%以上ROE
14%水準ROIC
8%水準ROA
9%水準

② 中長期の経営戦略

1. コア事業の競争力再強化

MC事業とマリン事業へ重点投資。NMAX155にYECVTを搭載し、インドではAEROX Eなど電動車両も展開

3. 新規事業の事業化推進

モビリティサービス、低速自動走行、農業領域に注力。米国にYamaha Agriculture Inc.設立

2. 戦略事業の成長推進

ロボティクス・SPV・OLV事業を展開。ヤマハロボティクス株式会社設立、Brose e-Kit買収で欧州強化

4. 環境計画の推進

2035年にカーボンニュートラルを目指す。サステナブル原材料使用比率を14%から18%に引き上げ

③ 対処すべき課題

① 事業ポートフォリオ最適化

- ・ コア・戦略・新規の3層構造で事業を再編成
- ・ 全事業がROIC12.5%超を目指す経営基準の確立

② 市場環境への対応

- ・ 米国関税やマリン市場の需要変化への対応
- ・ アセアンでのプレミアム戦略強化

③ サステナビリティとリスク管理

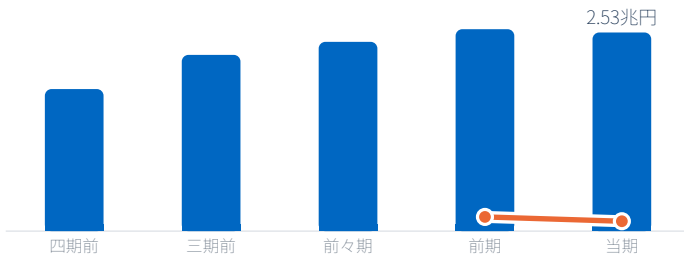
- ・ 2050年サステナブル原材料100%到達
- ・ Global・Integrated・Agileを柱としたリスク・コンプライアンス体制強化

面接で使えるポイント

- ・ 2030年ビジョン『ART for Human Possibilities』の実現に向け…
- ・ ロボティクス・電動アシスト自転車・農業など新領域開拓で、モビリティの可能性を拓く取り組み
- ・ 2035年カーボンニュートラル、2050年サステナブル原材料100%等、環境・社会課題解決への具体的コミットメント

証券コード 7272

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.53兆円営業利益率
5.0%財務健康度
30点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 59.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
835万円

輸送用機器内 10位/82社

平均年齢
42.7歳

輸送用機器内 37位/83社

平均勤続
18.1年

輸送用機器内 29位/83社

女性管理職
3.7%

輸送用機器内 36位/72社

男性育休
80.2%

輸送用機器内 27位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 御厨駅への副駅名標「ヤマハ発動機前」の掲出開始 - news

